

# 美術館講座の ご案内

仲町啓子特任館長



俵屋宗達・尾形光琳・酒井抱一は、平安時代以来の日本独特の大和絵の画法を江戸時代に再生・発展させた画派として、今日一般に琳派と呼ばれています。3人には直接的な師弟関係はありませんが、時を隔てていわゆる私淑という形で画系を繋げていきました。講座では、江戸時代初期・中期・後期の社会・文化を背景に変化していった、3人それぞれの琳派画風についてお話します。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

## 講座名 特任館長講座

### 《江戸時代の美術と文化Ⅲ 宗達・光琳・抱一》

【講師】 仲町啓子(なかまちけいこ)  
(秋田県立近代美術館特任館長・実践女子大学文学部名誉教授)

【対象】 学生、一般

【場所】 秋田県立近代美術館6階研修室

【時間】 午後1時30分～午後3時

【受講料】 無 料

【申し込み】 不 要(各回会場にて受付)

#### 期日・内容

- ① 5月11日(土) 宗達の金銀泥絵—本阿弥光悦と江戸時代初期の京都
- ② 6月 8日(土) 俵屋の宗達から法橋宗達へ(水墨画・扇面画ほか)
- ③ 7月13日(土) 宗達の後半生と屏風絵の制作—《風神雷神図屏風》ほか
- ④ 8月24日(土) 光琳の前半生とその制作—《燕子花図屏風》を中心に
- ⑤ 9月21日(土) 光琳の後半生とその制作—《紅白梅図屏風》を中心に
- ⑥ 10月26日(土) 光琳と弟・乾山との合作、そして乾山の陶器・絵画制作
- ⑦ 11月16日(土) 抱一前半生とその制作—浮世絵・狂歌から光琳百回忌供養
- ⑧ 12月 7日(土) 抱一後半生とその制作—江戸の文化人との交流と屏風絵制作

